

瀬戸内フシカット ピーちゃん通信

Vo.57
2024.11月号

山佐フロンティア(株)
金岡事業所 川池 寿人
TEL 086-948-2053
FAX 086-948-0108

紅葉の前に気をつけて…

ここ最近ようやく過ごしやすくなってきました。今年の酷暑は強烈で6~8月の平均気温は昨年に並び過去最高だったと言います。8月の中旬まで台風の接近が無く、海面水温が高いままであったことも要因でした。このまま温暖化が進めば、熱帯のような夏が当たり前になってきてしまいそうですね。逆に今年の冬はラニーニャ現象が発生してかなり寒くなりそうだという予想もあります。そうなると極端な1年を過ごすことになるので、体調管理は一層気をつけなければなりません。



紅葉のシーズンも近づいてきて山に行く機会も多くなってくのではないのでしょうか。紅葉の時期に山に行く機会も増えますが、今年は(も?)クマが民家に出没するニュースや、登山客が襲われる事件が相次いで報道されました。クマ関連のニュースは数字が上がるので取り上げやすいとマスコミの方が言っていたのを聞いたことがありますし、スマホカメラの普及で撮影機会が増加していることもあります。クマ被害が多いことは事実です。毎年9月から11月の期間が最もクマの被害が多い時期になっており、環境省の報告によれば、昨年は219人が被害に遭いそのうち6名が死亡しています。

クマは冬眠に備えて9月から活発に餌を探し回ります。クマの目撃例は秋の主食であるどんぐりが豊作の時と凶作の時で変わり、凶作になるとクマは食べ物を求めて普段行かない場所まで出てくるわけです。そこで人の集落に収穫されていないクリや柿、生ごみなどを見つけて誘引されるのではないかとみられています。他にも山奥の集落などが過疎化、高齢化し普段から山に入る人が減り、クマの生息域と人の生息域の緩衝地帯が無くなってきたこともあげられます。もののけ姫に描かれていた世界が現実になっているようなものです。それともう一つ近年話題にもあがる「アーバンベア」の存在が無視できません。簡単に言えば人間の生活に慣れた環境で生まれ育ったクマの事です。人間の話し声も、車の音も慣れており恐れずに人里までやって来ます。酷暑の影響でどんぐりが不作になるという話もあり、アーバンベアが増加傾向にあるのかも知れません。

万一森でクマさんに出会ったらどうしたら良いのでしょうか。クマに気付いたらゆっくりと後ずさりをしてその場を離れます。背中を見せて走って逃げたりしてはいけません。死んだフリは通用しません。もし襲われそうになった場合は、頭やお腹を守る防御姿勢を取りうつぶせになって身を守りましょう。遭遇してしまうと非常に危険なので、なるべく森の中には立ち入らない、クマの目撃例が相次いでいる場所には近づかない、クマの撃退スプレーを持っておく、など未然に防ぐ対策をしておくことが最も重要です。紅葉見学は観光地として人が多い場所を選ぶことが大切です。安全第一でチュン。それでは。

ピーちゃんの つぶやき

アメリカ大統領選は日本にも大きく影響するので気になるでゅん。